

まちキャリアアンコール

キャリアコンの 認知度低すぎ!? 問題を斬る!

まちキャリアLabo.
キックオフミーティング

2024/4/7 sun. いりえなおこ



まちキャリア
Labo.

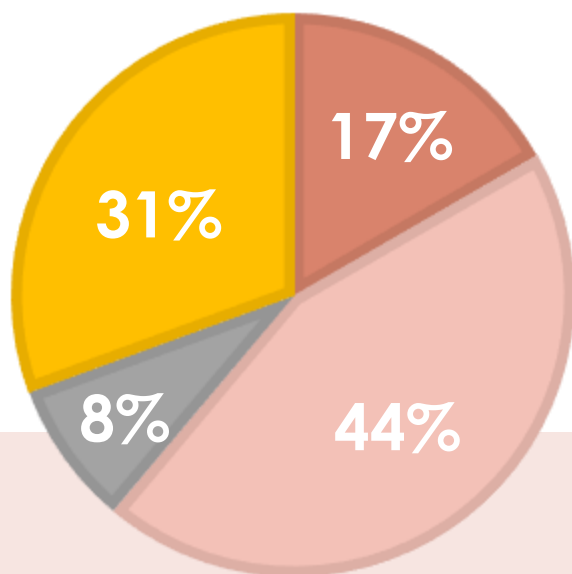
1

けっかはっぴょー！

活動領域

現在キャリアコンサルタントとして活動されていますか？ (n=36)

- 正社員・正職員として企業団体に所属
- 業務委託・準社員など非正規職員として従事
- 副業やボランティアで活動
- 特に活動していない・活動準備中



- ▶ 正規雇用は少ない。
- ▶ 「特に活動していない」回答の中にも、準備中の方や思案中の方が多く見られた。
- ▶ 複数回答にしていなかったため、パラレルキャリアの存在が潜在的にあると考えられる。

回答凡例が少なすぎて自由記述が多くなってしまいました。傾向として見るため回答をまとめさせていただいています。

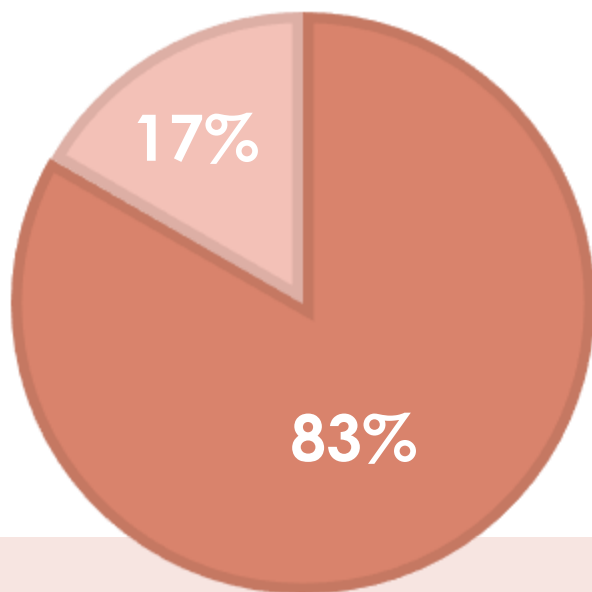
2

けっかはっぴょー！

活動意志

キャリアコンサルタントとして活動
したいと考えておられますか？ (n=36)

- 現在よりも多く・幅広く活動したい
- 現在と同等程度活動したい



- ▶ 雇用形態に関わらず、現在よりも幅広く活動したいと考えている方がほとんど。
- ▶ 活動縮小と答えた方はゼロ。
- ▶ 数年先のライフスタイルの変化（退職など）を見据えて活動したいと考える方も。

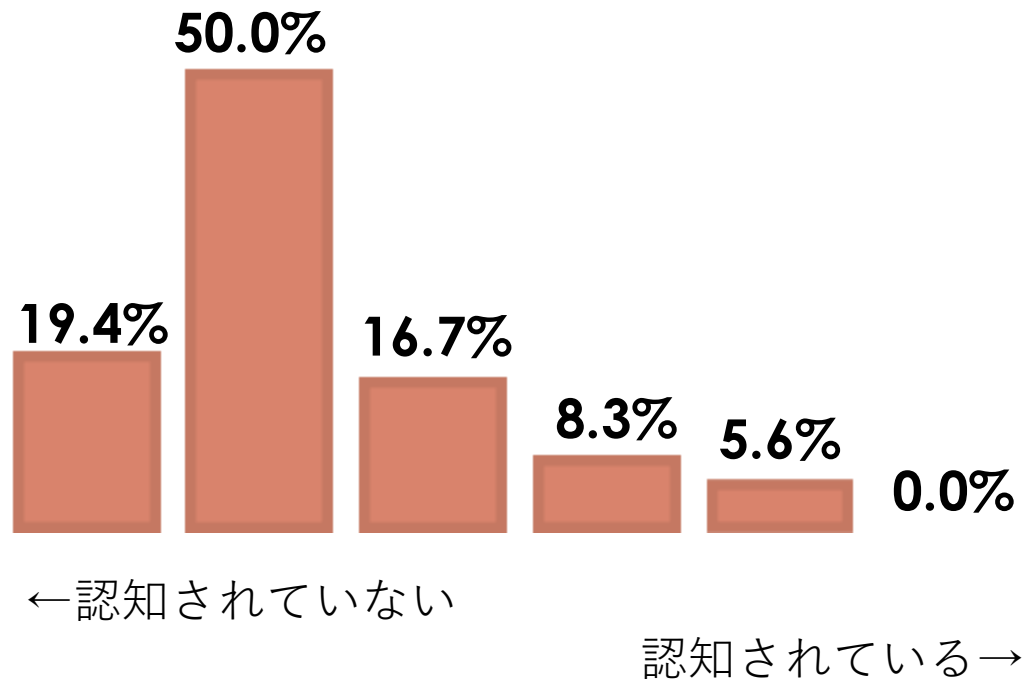
回答凡例が少なすぎて自由記述が多くなってしまいました。傾向として見るため回答をまとめさせていただいています。

3

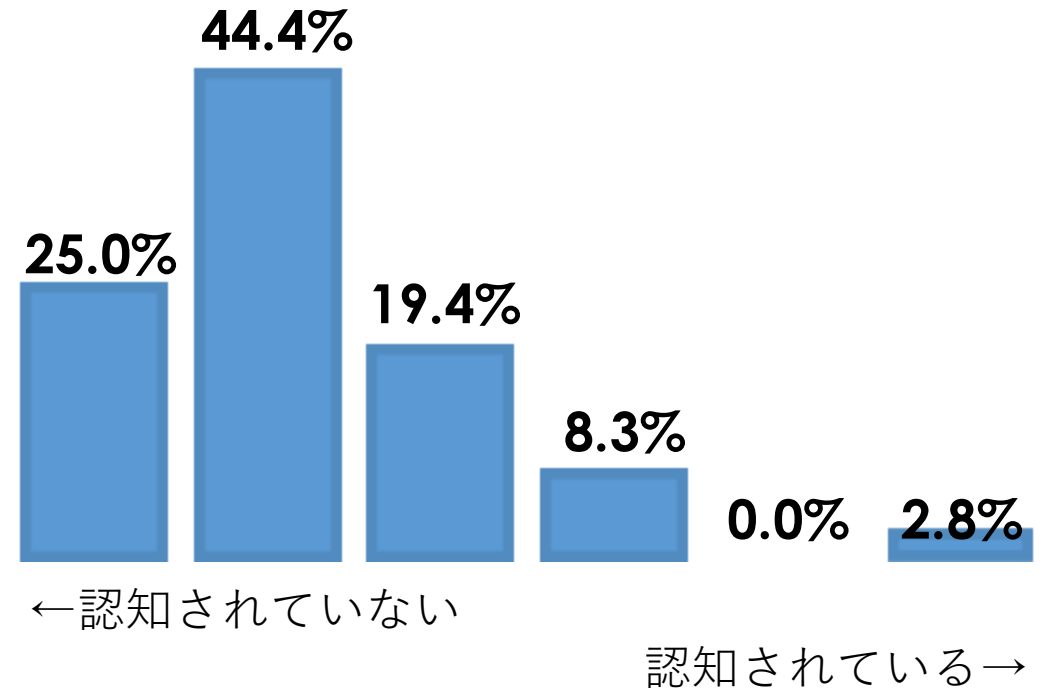
けっかはっぴょー！

キャリアコンの認知度①

「名称」はどのくらい認知されていると感じますか？ (n=36)



「存在意義」はどのくらい認知されていると感じますか？ (n=36)

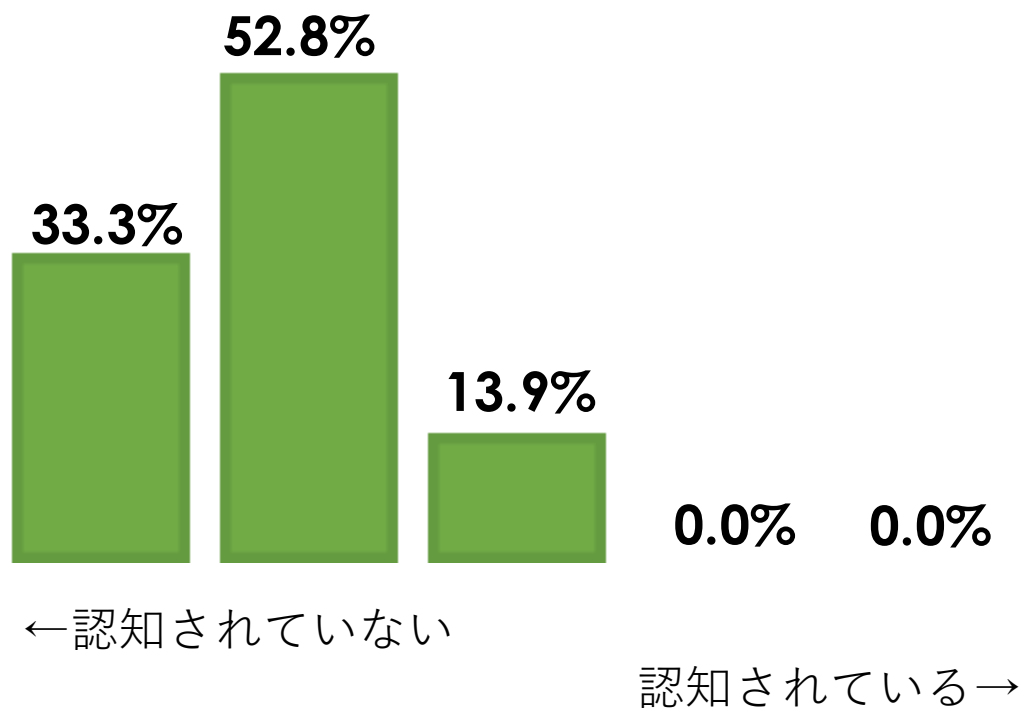


4

けっかはっぴょー！

キャリアコンの認知度②

「活動領域」はどのくらい認知されていると感じますか？ (n=36)



- ▶ 名称や存在意義は多少認知されていると感じているが、ほとんどのの方が「認知されていない」と感じている。
- ▶ 特に「活動領域」の認知度が低いと感じている。

5

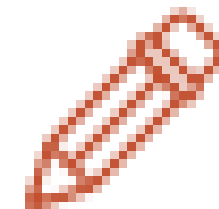
けっかはっぴょー！

認知度についてご意見①

「認知されている」と お答えの方の意見



- ◆ 名称は割と知られているが、どんな資格なのかを知る人は少ない印象です。
- ◆ 名前は知っている人が増えてきている。人事担当者によく会うが名刺に名前が書いてあることも増えてきたト感じる
- ◆ 「キャリアデザイン」というワードが職場内で徐々に浸透し始めているため



「認知されていない」とお答えの方の意見①

- ◆ 企業にもよりますが、プライベートや守秘義務への疑念が大きい為
- ◆ 名称独占資格であっても有資格者以外の方達がキャリアコンサルティング等、同様の業務に従事している為、あらゆる企業において必須資格である必然性がない。極論だが、いわゆる業務独占資格でない事も認知度の低下と関係しているのではと感じます。
- ◆ 大学や公的機関などでしか、あまり認知されていないと感じる。
- ◆ 厚生労働省の管轄の人事や就労支援の業界、ハローワークなどだけしか、認知されていない。限られた領域のみである。
- ◆ 1番認知が高そうな学校現場でさえ、認知されていない
- ◆ 本来の意味のキャリアコンサルタントの活動は認識されていないと思う。人材会社のキャリアコンサルタントをイメージされることが多い。
- ◆ 行政の職員に前から気になっていたがそんな仕事なんだ、とか、議員さんに聞いたことはあったけど体験してみると広げていきたい、とか、経営者に研修とかでもいいかも、とか、体験してもらえれば意見を頂きます。まず、認知が低い、価値が判断できない、というところからです。
- ◆ 人事コンサルとして数多くの経営者、人事にお会いしますが、有資格者意外で名称意外を知っていることは稀です。
- ◆ 面談の場で初めて知ったと言う方がまだまだ多いので
- ◆ キャリコン自体が理解されていない事が多い

「認知されていない」とお答えの方の意見②

- ◆ キャリアコンサルティングを通してどんな職業か理解されていないと感じた。ハロワの職業相談員とされている。名称から仕事に関するコンサルだと思われる。
- ◆ キャリアコンサルタント以前に、そもそも「キャリア」、「コンサルタント」などの概念等が認知されていない。
- ◆ 社内管理職においてはそもそも存在を認識していない。かろうじて経営層も「ハローワークで転職相談をしている人」程度の認知。
- ◆ 周囲でもキャリアコンサルタントを知っている人がほとんどいない
- ◆ 周りの人に聞いても知っている人がほとんどいない
- ◆ 知り合いには、その職業なに？と言われるので。
- ◆ キャリア相談を有料で行うという考え自体が浸透しておらず、普及していないと感じる。資格だけでは食べて行くことは難しく、実力と運が必要な分野だと感じている。
- ◆ キャリアカウンセラーの認知度がないのでせいぜい大学の就職支援室などで何となくのレベルかと。
- ◆ 「キャリア」は大企業の新卒正社員のもの、自分たちには「キャリア」はないと思われることが多いです。
- ◆ 活動事例が余り見つけられませんでした
- ◆ 会社で資格取得をしたと話してもほとんどのひとが、そんな資格があるんですねーという反応だった。

「認知されていない」とお答えの方の意見③

- ◆ 国家資格としての認知がない。具体的に何をするのかイメージがわからないと言われる（自分もそうだった）
- ◆ 資格名を言っても何それといわれたことがある。
- ◆ 知るきっかけが少ないため
- ◆ 周知不足と比較的新しい資格だから
- ◆ 「キャリアコンサルタントなんです」から入っても「何をしてくれるんだろう」となってしまうようです。また「相談にのりますよ」については、「相談するほどでは」「見ず知らずの人に相談は、...」となっているとも感じます。キャリアコンとして入るより、他の関わり合いでキャリアコンスキルを発揮して、「実はキャリアコンなんです」という流れがスムーズだと最近感じています。
- ◆ 副業ではワークライフファシリテーターとして仕事をしていて、保有資格はキャリアコンサルタントと自己紹介しています。わかりやすいと言われるから
- ◆ 業務範囲として職業紹介・マッチングと認識している人がまだまだ多いと感じているため。
- ◆ 話題にあまり出ない。
- ◆ 自分でも勉強を始めるまで知りませんでした。周囲に話しても、転職相談の人？と聞かれます…
- ◆ キャリアコンサルタントって何をする人？とよく聞かれる。私自身、範囲が広すぎてわかりやすく回答できていない気がする。
- ◆ 「キャリアコンサルタント」と名乗って、「何それ？」って反応が多いので…

AI要約の結果…

- ◆ キャリアコンサルタントの認知度は低く、その職務内容や役割が広く理解されていない
- ◆ 多くの人々はキャリアコンサルタントの業務を職業紹介やマッチングと誤解しており、資格名を聞いても何をするのかイメージできないという意見が多い
- ◆ 「キャリア」や「コンサルタント」などの概念自体が認知されていないとの指摘もある

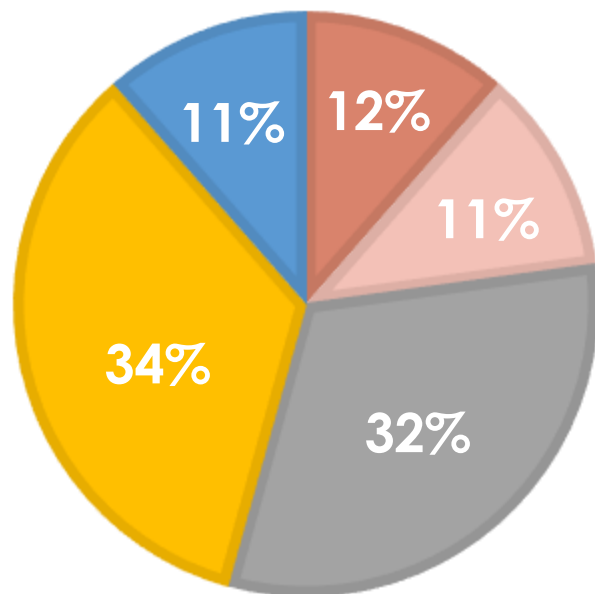


けっかはっぴょー！

施策について①

活動の場を広げるためには
どうしたらいいと考えますか？ (n=36)

- 一人ひとりのスキルアップ
- ボランティアなど無償活動
- 広告・宣伝
- 企業団体への働きかけ
- すべて・行動



- ▶ 企業・団体への働きかけが重要と考えている方が最も多く、次いで広告・宣伝（広報活動）に重要性を感じている。
- ▶ 項目すべてが重要、と考えている方もおられた。

回答凡例が少なすぎて自由記述が多くなってしまいました。傾向として見るため回答をまとめさせていただきました。

- ◆ まずはどんなものなのか体験していただく
- ◆ 大昔じゃ、電話を発明したベルはこんなに便利なのに必要性に理解出来ない大衆、スティーブジョブズの革命的商品も同じく、良いプロセスや支援も決めるのは相談者(消費者)、認知を上げるには餌撒きのただからラポールとなり、その先の重要な肝心要は料金が発生！まずはプロボノからパラレルキャリアへ移行する事で、徐々に浸透。
- ◆ キャリア教育、研修、コンサルティング等国家資格取得者なら、安心してお任せ出来ると思っただけの様一人一人のスキルアップは当然であり、行政からの後押しも同時に期待したい。
- ◆ 掛け合わせないと仕事には結びつかない
- ◆ 他の資格同様、公民権を得るには一定の時間が必要だと思います。
- ◆ 日本人の気質な問題、キャリアを人に相談する習慣がないことやキャリア教育が浸透しない文化を変えることは、若い世代や子供達に教えていき時間をかけていくしか無い。
- ◆ まずは多くの人に知ってもらう
- ◆ 知ってもらうためには、広告・宣伝が一番効果的な気がしました。
- ◆ 一つではない。スキルアップあつての価値提供。闇雲に宣伝して実行しても価値提供できなければむしろ逆効果。
- ◆ 教員免許を持っているからと言って良い先生にはなれません。たとえ教員免許を持たない人でも、その人物から学びたいと生徒や弟子希望が殺到する人もいます。むしろ「認知度向上して欲しい」と本人には実力もないのに資格の権威にフリーライド(タダ乗り)しようとする「ハリボテのような人」が増えることのほうが社会的には損失と考えます。

- ◆ 自身の活動だけで認知度は広げるのは厳しいと思う。現在は活躍できる場所が限定され、資格取得後に経験を積めず、未経験では更に狭き門となっている。また委託事業が多く、低賃金で雇用され、身分が不安定なため、自身の将来が見通せない。国家資格を作ったのなら国も企業や学校等に働きかける必要があると思う。
- ◆ キャリアコンサルタントとして資格を取得してからがスタートラインに立っているのに、そのことへの認識が甘く、他責思考な印象を感じるため。
- ◆ キャリア相談という概念さえ持たない中小企業が多いと感じているため。
- ◆ 個別の活動も大事ですが、宣伝で多くの人の目に触れることも効果があると思う
- ◆ 企業の福利厚生として従業員のキャリアコンサルティングを認知して頂く為。
- ◆ まずは、名前だけでも知ってもらいたいので。
- ◆ 個人で活動を広げていくことには限界を感じる。まずは福利厚生として浸透させてキャリア相談をするハードルを下げるのがいると考えたから、
- ◆ 最初はボランティアでも良いが、資格を取ったり維持するために研修を受けたりしている訳で収入も大事だと思う。キャリアコン自体がこれで食べていけないのでは本末転倒な気がする。
- ◆ 一人ひとりのスキルアップと認知度を上げる広報活動は車の両輪と考えるが、一つしか選べなかったの。
- ◆ キャリアコンサルタントとの面談を通じて、独立開業は難しい話を聞いたこと。検定試験のロープレの状況を自分なりに考えてみたため。
- ◆ 自分にあった活動、やってみたい活動のきっかけづくりがしたいためです
- ◆ 企業でのキャリアコンが一番推進しやすい

- ◆ 現在の所属している企業では、キャリアコンの資格に取得奨励金がついた。上司が部下育成のためにも必要か資格と認めたからであり、企業が資格の重要さやキャリアコンサルティングを実施できる環境を作ることの意義を認知することが大切だと思う。
- ◆ 資格保有者でも我流で実施していたり、閉ざされた空間でのやりとりのため他者からのフィードバックがないので個人差があり、クライアントへの提供価値のぶれ幅が大きいと感じるため。
- ◆ 興味あるなしに関わらず広く知ってもらえそう
- ◆ メディアで取り上げられることも大切だと思う
- ◆ 何となくそう思ったから
- ◆ 特に中小企業は、人材定着、採用、経営者の壁打ちなど求められていると思います。ただ、「ではキャリアコンに依頼しよう」とはならない現状ですが。
- ◆ 良さを知っていれば選んでもらえるはず 馴染がないなら、自分から近寄って行って馴染んでいただくことが大切かな
- ◆ ベースとしてのスキルアップは勿論のこと、ボランティアで経験を増やししながら、やっている事を周知してもらうための発信、アウトプットが大切だと感じています。
- ◆ 企業外キャリアコンサルタントを目指しています。
- ◆ 似た名前の仕事が多く、聞いたことのない人には区別がつきにくい
- ◆ 名称と役割を認知してもらうには、個人の活動では限界があるため。
- ◆ PRも含め、活動の場所が豊富であって欲しい
- ◆ あまりよくわかりません！
- ◆ 企業で知ってもらい、導入して貰えると、安心感もあると思うので

けっかはっぴょー！

AI要約の結果…

- ◆ キャリアコンサルタントの認知度を上げるためには、個々のスキルアップと広報活動が必要であり、その活動は企業の福利厚生として認識されるべきである。
- ◆ また、キャリア教育の浸透とキャリア相談をする習慣の形成も重要であり、それは時間をかけて教育することで達成される。
- ◆ しかし、資格取得者でも実力がなければ逆効果であり、資格の権威に依存するのではなく、自身のスキルと経験を積むことが重要である。



けっかはっぴょー！

取組み①

- ◆ 人に自分の職業を話す時、キャリアコンであると伝えている
- ◆ 相談者ファーストを大切に、指導者的態度でないCCである事ばい。
- ◆ ①弊社にて業務中、休憩時に『キャリアコンサルタント』を呼称し続け、キャリアコンという存在がいることを記憶してもらう ②キャリアコンの〇〇さんなら、どうしますか？等の質問が、最近同僚、後輩達から言葉に出る様になってきたため、興味を抱く方達には、キャリアコン倫理に沿った考えを、あくまで一例として伝えています。
- ◆ FacebookやLINEで自分の活動を公表しています。
- ◆ 国や自治体の取組情報を注視する
- ◆ 本の自費出版をした。身近な議員と勉強会をする団体等に意見や課題を出した。
- ◆ 企業訪問で、こういう資格がある、と教えている。
- ◆ 自分の活動の中で周囲に話すようにしています。
- ◆ 勉強会と1コインイベントの実施。行政の政治家への働きかけ
- ◆ 名刺に記載している。
- ◆ 知人・友人の相談にのり、口コミで宣伝している程度。
- ◆ 採用担当者という立場も活用、社内で資格取得と名刺に資格名の併記してもらうよう自ら社長に直談判し、実現
- ◆ ブログ発信
- ◆ 色んなところ自身のしている活動について話す。
- ◆ とりあえず発信していかねば！と思う。先日、派遣の面接で前職を聞かれた時に「キャリアカウンセラーって何ですか？」と人事の方に聞かれた。ほんとに認知されてないなーと痛感。

- ◆ 草の根運動ですが、メタバースでのプロボノ活動のほか、セミナーでは受講者にキャリアコンを知っているか最初に必ず聞き、簡単に説明している。
- ◆ 職場内での公開。
- ◆ セミナーなどで、自身の体験談としてキャリアコン取得の理由や仕事の内容を話している。
- ◆ (まずはできるところからで) 社内キャリアコン施策への参画
- ◆ 通信の発行、相談時に説明
- ◆ メディアで取り上げられるなどの、広報活動も大切だと思う
- ◆ こんな資格を持っています、と発言する
- ◆ give & give & giveでやってみるしかないかなと思っています。
- ◆ 面談スキルの提供と、キャリアコン自身の行動促進及び相互協力推進に取り組んでいます！
- ◆ 地域交流会に参加する
- ◆ まだできていません。。
- ◆ 無料相談会を定期的に開催して、周知する。→2回開催したけど参加者は0でした
- ◆ 自分の活動を地道に続けるのみ…
- ◆ 面談した方には、お友達にも教えてあげての様な感じでお伝えしてます。
- ◆ とにかく色々な場所、人にキャリアコンをアピールすること

17

こんな感じでゆるっと活動開始！

取り組みの
参考に！

行動の
きっかけに！

まちキャリ
Labo.

認知向上の
ツールと
して！

話の
ネタに！

「こんなこと調べて！」
「あんなこと知りたい！」
などリクエストも
お待ちしております。